

みどりの翼

特集

Art is wonderful

秋は芸術の季節ですね。

ワンダフルなアートに触れてみよう！

2022年10月 Vol. 80



なのピィ



発行：田原市中央図書館

(TEL：0531-23-4946)

“音” を “楽” しもうじゃないか

「吹奏楽部のトリセツ！」

松元宏康／監修 学研プラス 2022年 764.6/7 アイリス



吹奏楽部に興味がある人、吹奏楽部に入って間もない人におすすめの本です。楽器の種類や特徴を写真付きで丁寧に説明しているので、初心者にも仕組みが理解しやすいと思います。実際の練習ではどのようなことをしているのか、演奏するときのコツ、覚えておくといよい単語など「吹奏楽がもっと楽しくなる」ための解説が盛りだくさんです！コンクールや演奏会など、人前で演奏するのは緊張しますが達成感もありますよ♪

読むと水墨画が描きたくなるかも？

「線は、僕を描く」

砥上裕將／著 講談社 2021年 913.6/1カ アイリス



設営のアルバイト先の展示会場で、大学生の霜介が出会った老人は有名水墨画家の篠田湖山だった。この偶然の出会いが霜介の運命を決定づける。

著者は水墨画家でもあるので、私たちの全く知らない水墨画の世界の深遠さや真髓をわかりやすく教えてくださいます。タイトル中の「線」が水墨画にとってどういう意味があるかがわかる場面はハッとさせられました。

最年少チーム“美”の挑戦

「一〇五度」

佐藤まどか／著 あすなろ書房 2017年 913.6/1外 アイリス



都内の中高一貫校に編入した中学3年生の真は、家が椅子屋の同級生梨々と出会います。真のおじいさんも椅子職人で、ふたりは全国学生チェアデザインコンペに挑戦することになります。デザインは真、設計や木工を行うモデラーを梨々が担当し、学校の勉強の合間をぬって椅子作りに取り組みますが…。将来に悩む若者の葛藤がさわやかに描かれていて、椅子の見方が少し変わるかもしれません！

ただ撮るだけじゃもったいない

「カメラ1年生 (iPhone・スマホ写真編)」

矢島直美／著 インプレス 2018年 743/円 1冊



スマホだけでも簡単にキレイな写真が撮れるようになったけれど、自分で撮った写真はなんだかパツとしない。そんな悩みを抱えている子も多いはず…。

そんな時はアプリに頼る？やっぱり才能？でも写真を撮るコツを知っていれば、センスがなくても大丈夫！ピントや構図などカメラの基本を学んでステキでおしゃれな写真を撮ってみよう。

巨大建造物の内部に迫る！

「ピラミッドの建て方」

柏木裕之／著ほか 中川武／監修 実業之日本社 2013年 520/円 1冊



ピラミッドやコロッセオ、出雲大社など、世界や日本の有名な巨大建造物はどうやって建てられているのか？その大きさや構造をわかりやすくイラストで解説している本です。“もしも〇〇だったら”と現代文明の中で比較している点が面白く、古代出雲大社は、銀座の高層ビルと並べられていてそのサイズにびっくりします。昔の建造物には謎も多く、実物を見に行きたくなってきます。

自分たちの手で、演劇を作り上げる

「幕が上がる」

平田オリザ／著 講談社 2012年 913.6/円 1冊



年に一回の地区大会で負けたら終わりの弱小演劇部の新部長となったさおり。最後の夏を控える新学期にやってきた新任の吉岡先生は、かつて「学生演劇の女王」と呼ばれた注目女優だった。頼み込んで副顧問となってもらった先生の指導のもと、県大会出場を目指す演劇部の挑戦が始まる。宮沢賢治の名作『銀河鉄道の夜』をもとにした劇中劇の描写が素敵で、実際に見てみたくなりました。

中央図書館では、その他のオススメ本も展示しているので見に来てね☆

☆新着図書・この本読んで！☆

ガイドンは面白いぞ！

「はじめて読む！海外文学ブックガイド」

越前敏弥ほか／著 河出書房新社 2022年 902.3/冊* 11冊*



サブタイトルに「人気翻訳家が勧める、世界が広がる48冊」とあるように、18人の翻訳家が、名作から最近の作品まで、英語圏はもとよりチベットやアフリカなど世界中からよりすぐった海外文学を紹介しているこの本。物語だけでなく、マンガやエッセイもピックアップされています。他に「登場人物の名前を覚えられない」「翻訳家になるにはどうしたらいい？」などの悩みに答えてくれるコーナーもありますよ。

歳をとるってどんなこと？

「大人になる前に知る老いと死」

前沢政次／著 ぺりかん社 2022年 367.7/7 11冊*



中高生の皆さんにとって、歳をとることや「死」はずっと先の出来事で身近に感じることは少ないと思います。でも、家族の中にお年寄りがいたり、町中でお年寄りをみかけたり、知人の死に直面することもありますよね。老いること、特に認知症や「死」について、負のイメージをもつだけでなく、正しく理解してみませんか？今の生活を大切に、周りの人たちにちょっと優しくなれるかもしれません。

「働く」を考え尽くす

「君らしく働くミライへ」

QuizKnock／著 朝日新聞出版 2022年 366.29/7 11冊*



現代社会で生活していくために、何かしらの仕事をする人が多いと思います。せつかつなら楽しく働きたいですよね。人生の限られた時間の中で、仕事が占める割合の大きさを考えてみます。「どう働きたいか」は「どう生きたいか」につながるのではないのでしょうか。自分らしく働くために必要な「自分を知り、社会を知る」ためのヒントがたくさん詰まった本です。著名人のお仕事インタビューも豪華ですよ。

予告：次号の特集は「なぜ」です。お楽しみに♪